



一般 電池工業会  
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011  
東京都港区芝公園三丁目5番8号  
機械振興会館内  
電話 (03) 3434-0261 (代)  
ホームページ <https://www.baj.or.jp/>  
ご意見・お問い合わせ <https://www.baj.or.jp/contact/>  
発行人 清水義正

2023年9月号

## 2023年度 正賛合同会議

一般社団法人電池工業会は、2023年9月1日（金）札幌ビューホテル大通公園にて「2023年 正賛合同会議」を開催した。

会員数は、正会員 15 社 賛助会員様 94 社 合計 109 社で、材料、設備はもとより、サービス、販売、リサイクルに至るまで賛助会員様の業種は多岐にわたっており、業種の広がりを見せている。

BAJ 競争法コンプライアンス・ルールに則り進行する旨の宣言がなされ、工業会代表である、村尾 修 会長（GS ユアサ）の挨拶後、電池工業会 清水専務理事から工業会報告がなされた。

講演会は、日本ラグビーフットボール協会 副会長、一般社団法人アザレア・スポーツクラブ 代表理事 清宮 克幸様から、～清宮流マネジメントの極意～情熱、言葉の力、独自性「人を変え、組織を動かす」について行われた。



## 1. 2023年度一般社団法人 電池工業会「正賛合同会議」を開催

- (1) 開催にあたって（事務局より）  
本正賛合同会議は、当工業会の競争法コンプライアンス・ルールを順守することを確認。
- (2) 当工業会の役員ならびに正会員の紹介
- (3) 出席頂いた賛助会員様の社名およびお名前を紹介
- (4) 村尾会長のあいさつ



### ・カーボンニュートラルに向けた電池業界を取り巻く状況

- 1) 2050年カーボンニュートラル宣言以降の日本の動き
- 2) カーボンニュートラル実現に向けた市場動向
- 3) 蓄電池の市場動向
- 4) 蓄電池の「特定重要物質」指定
- 5) 蓄電池を取り巻く4つの課題

### (5) 清水専務理事から工業会報告



- ・電池工業会の概要ご紹介
- ・数字からみた国内電池事業の状況
- ・工業会の活動について
- ・蓄電池産業戦略検討

## 官民協議会の対応について

- (6) 来年度の正賛合同会議の幹事会社を決定
- (7) 清宮様講演会



# 第 108 回 二次電池第 2 部会を開催

2023 年 8 月 28 日（月）、一般社団法人電池工業会は第 108 回二次電池第 2 部会を 3 年振りに対面会議で開催した。冒頭で BAJ 競争法コンプライアンス・ルールを遵守することを確認したのち、浅利部会長、清水専務理事より挨拶があった。続いて各委員会の代表者から、2023 年度のこれまでの活動報告がなされた。



## 1. 部会長挨拶

3 年振りの対面会議で、改めて多くの方々に参加していることを認識しました。今後、新任の方が就任される年度初回の部会是对面で開催するなど、年 1 回は対面開催が必要と考えています。

欧州 PFAS 規制除外申請対応として、一次、二次第 2 合同 WG を中心に議論を行い、2 回のパブコメを提出しました。8 月 9 日に提出した 2 回目のパブコメで、焼却時に PFAS が環境に排出しないかどうか調査を行い、かつ、800 度以上の温度で焼却すれば、PFAS 関連物質が規制値を超えないことがわかり、非常に有効なパブコメになったと考えています。関連する団体、企業などからも同様な論理展開をしてもらい、業界を挙げて訴えていきたいと思ひます。

欧州電池規則が採択され、カーボンフットプリント、電池パスポート、リサイクル使用比率が欧州域内で施行されると、各国に拡がるのが想像され、経産省対応を含めて

工業会としてやるべきことは多々あるのでご協力をお願いします。

蓄電池は特定重要物資に選定されていて、今後、政府に対して、補助金を提案していくことになるので、部会での積極的な議論、審議をお願いします。

## 2. 専務理事挨拶

9 月 1 日、2 日、正賛合同会議を開催します。BAJ からは、欧州電池規則カーボンフットプリント計算方法、消防法規制緩和対応、IEC 規格対応、欧州 PFAS 規制、製品安全対応についての取り組みを説明します。

すべてこの部会に関係する内容です。

会議には会員企業のトップも出席頂いていますので機会がありましたら、皆様の方からも内容のフォローを頂けると有難いと思ひます。

### 3. 各委員会報告

#### ◆技術委員会

##### 各分科会報告

###### <リチウム二次分科会>

- ・IEC62133-2(ポータブルリチウム二次安全)改訂対応で、ED2 開始が合意されたが、プロジェクトは設置されておらず、CD 文書も未発行。JIS C 62133-2 と技術的差異があり、IEC に提案すべき内容を審議。
- ・PSE WG からの依頼により、火災予防条例第 23 条の運用要綱の文言について審議を実施。

###### <LIB 安全性技術 WG>

- ・FISC 試験の代替 DISC 試験検討に重点を置いて活動実施。
- ・IEC 62660-3 改訂案については、2026 年 IS 化を目標に、23 年 11 月国際会議で改訂協議を実施する予定。DISC 試験は再現性に問題があり、追加試験を実施して、継続審議を行う。

###### <据置 LIB 分科会>

- ・JIS C8715-2 改正の本文・解説の最終調整を JSA と実施、6 月末で終了。
- ・JIS C8715-2 改正作業中に、IEC62619Ed2 にて、同じ内容を異なる表現で記述している箇所を確認。これら誤解を招く表現を含め IEC62619Ed2 の amendment の提案を審議。
- ・IEC62620 は、改訂 (Ed2) 開始の時期であり、Ed1 からの変更の内容確認を実施。

###### <非駆動用車載 LIB 分科会>

- ・IEC63118 ED1 CDV(非駆動用車載 LIB 性能)の日本案はすべて受け入れられ、FDIS への移行が認められた。FDIS ドラフトは 7 月 5 日に提出済み。
- ・四輪自技会 補機 LIB WG が新設され、JASO TP 発行に向けて、今後の議論対象範囲の認識合わせを協議して、用途毎に議論することを確認。

###### <ニカド・ニッケル水素分科会>

- ・IEC61951-1(Ni-Cd 性能)、IEC61951-2(Ni-MH 性能)、IEC62133-1(Ni 系二次安全)、JIS C8705/8708(Ni-Cd, Ni-MH 性能)規格に対応。

###### <産業用ニッケル水素分科会>

- ・IEC63115-1(産業用 Ni-MH 性能) ED2 開始を

問う Q 文書が投票の結果、賛成多数で可決。

- ・IEC63115-2(産業用 Ni-MH 安全)は JIS 独自規格である筐体への難燃材使用の展開を推進中。

CD 草案を作成して継続審議。

###### <PSE-WG>

- ・東京都火災予防条例第 23 条におけるリチウムイオン電池の扱いに関する審議を実施。対象になる危険物にリチウムイオン電池は含まないという修正案が提起され、9 月開催予定の東京消防庁/予防技術検討委員会で最終決定されて、来年 1 月以降に通知が発出される予定。
- ・電気用品調査委員会から解釈別表第十二へ先行して一本化する電気用品についての調査依頼があり、リチウムイオン蓄電池は既に対応しているため、先行する必要なしと回答。

###### <蓄電システム WG>

- ・国交省の公共建築工事標準仕様書、建築設備計画基準、建築設備設計基準の改定準備対応で、意見収集を進めている。

###### <環境規格分科会>

- ・IEC63218(二次電池環境)のメンテナンスについて、IEC60086-6(一次電池環境)の TC35 から更新情報がないため、進捗なし。

###### <リユース規格分科会>

- ・IEC63338 ED1(二次電池用リユース一般ガイダンス規格) CDV 可決したが、改正 CDV が出され、PT 会議にて審議後、FDIS 移行を提案。
- ・IEC63330-1(駆動用リユース製品規格)は CDV 可決。修正要求あり、FDIS へのコメント募集。IEC63330-2(残存性能評価 TR) WD コメント作成中。
- ・IEC62933-5-3(化学電池 ESS 安全) CDV 投票結果、可決。

###### <CFP 規格分科会>

- ・IEC63369-1(産業用 LIB の CFP 計算方法に関する規格)は、CD2 に対し各国から提出されたコメント内容を PT 会議で審議を継続中。日本コメントはすべて受け入れられている。

## 関連委員会の対応

- ① BASC 主催の ISO/TC333 国内委員会  
・LIB 向けリチウム複合酸化物に関する炭酸リチウムおよび水酸化リチウムの同定の CD 前コメントが募集された。技術委員会分科会・WG 主査に確認依頼し、電池に影響する内容はないので特にコメントなし。
- ② 第 108 委員会(JBMIA 主催の IEC/TC108 (AV/IT/通信機器の安全) 国内ミラー)  
・5月30日、国内委員会開催。電池に影響のありそうな内容はなく、議事内容は技術委員会内に情報展開済み。
- ③ 欧州 PFAS 規制対応  
・2回のパブコメ提出に対応。5月に提出した1回目は、使用状況と代替品探索が困難のため、13.5年の猶予期間を求めた。8月に提出した2回目は、文献情報を参考に、環境への排出リスクの取り纏めを行った。
- ④ 欧州電池規則対応  
・8月17日に発効され、技術委員会内で BAJ の対応方針が確認された。個社の個別対応が基本であるが、個社で不都合が生じるなど政府機関への働きかけの窓口は BAJ に対応。また、EU 委任法への対応は別途相談とする。

## 技術委員会審議事項

- ① 強制内部短絡試験に関する JIS/IEC 規格審議時の分科会連携について  
・強制内部短絡試験に関連する JIS/IEC 規格内容が整合できるよう、据置 LIB 分科会・リチウム二次分科会が連携して合議の上、改正・改訂を進めていくことが承認された。
- ② ポータブル電源の安全対策に関する規格検討について  
・JET が受託して検討が進められる中で、BAJ からは据置 LIB 分科会、リチウム二次分科会からメンバーを人選してオブザーバー参加することが確認された。

## ◆国際電池規格委員会

- ・昨年度までに多くの規格が整備されており、新しい

リユース、CFP 以外の規格は出揃っている状態。修正、追加、問題点などの改訂は順調に進んでおり、10月に開催される SC21A 国際会議で規格の進捗状況を発表する予定。

- ・監視規格については、JARI が開発している IEC62660-1/-2/-3(駆動用セル性能・安全)の改訂が開始されており、TC120 蓄電システム系規格 IEC62933-5-4(LIB ベース ESS 安全)の改訂が開始された。
- ・CDV 投票で可決されても議長判断で再投票の仕組みが出来て、日本が主導している2件が再投票になっている。

## ◆国際電池輸送委員会

### 活動内容

#### <国際電池輸送委員会>

- (1) 第 62 回国連危険物輸送専門家小委員会  
・7月3日-7日開催(@ジュネーブ)の会議に参加。リチウム電池に関係する提案は、正式文書3件、非公式文書7件が議論され、基本継続審議となった。
- ・UN インフォーマル WG にて、リチウム電池の危険性レベルに応じた輸送条件検討が進められており、国連勧告への掲載文書を提案することが決定された。
- (2) SAE-G27 会議(リチウムイオン電池を安全に航空輸送するための新包装基準策定 PJ)  
・7月18日-21日に開催された会議(@ワシントン DC)に参加。適用範囲を円筒型のみに縮小した基準書発行のための審議を行い、概ね完成した。
- ・2023年10月に基準書発行に向けた投票、2023年中に Information report の投票が行われる予定。
- ・次回会議は11月7日-10日(@ダラス)、リモートで参加予定。次々回会議は2024年3月19日-22日、事務局から日本開催を要請されており、機械振興会館での開催で準備を進める。

#### <小型全固体 LIB 輸送 WG>

- ・日本海事検定協会と打合せを行い、7月の第62回国連会議に非公式文書を提出することが了解され、非公式文書を準備して会議に臨んだが、非公式文書には十分な審議時間が割り当てられないこと、また、提案は正式文書として提出して時間をかけて審議すべき内容であるとの理由で非公式文書の提案は見送った。
- ・第63回国連会議に正式文書を提出すべく準備中。UN IWGで検討中の試験条件が変更されたため、類焼試験およびARC分析を各社再試験中。正式文書の提案内容は、一定要件を満たせば危険物として輸送しなくて済むような特別規定を設ける方向で検討中。

#### ◆普及促進委員会

##### <普及促進委員会>

- ・23年8月、24年度予算向け追加提言、及び24年3月、25年度予算に向けた提言を行う。3つのテーマを選定して、8月2日、経産省電池産業室に提言及び確認を行った。
  - ① 蓄電池製造工場等における設備改造に対する補助
  - ② 再エネ活用促進による蓄電池製造工場のゼロエミッション化・レジリエンス強化
  - ③ 国内製造基盤 150GWh/年実現に向けた蓄電池需要予測検討と確認

##### <定置用 LIB 普及強化 WG>

- ・前回電池産業室への提言において、補助金の仕組みを具体的に提案頂きたいという要望を頂いた。そこでJETと意見交換を行い、取組や認証監査の実施方法などを紹介いただいた。その結果からどのように補助金要件へ取り込みすべきかを検討した。
- ・日本製蓄電池の有用性を導出するため、NITEとのコラボレーションの在り方を検討中。海外製セルの評価PJについての可能性と評価スキームについて電池産業室と意見交換を行った。

##### <法規 WG>

- ・LIB電解液総量規制適正化として、モノづくり工

程への規制緩和案を検討。一昨年活動したキュービクル式リチウムイオン蓄電池貯蔵の緩和策をベースに、上流の製造現場に対して適用できるかどうかの意見を集約し、消防危険物保安室に提案を行う。

- ・消防危第214号「鋼板製の筐体で覆われる車載用リチウムイオン蓄電池に係る指定数量について」が7月に公表された。車載用に特化しているが、産業用に流用できるか検討を開始。

#### ◆PL委員会

##### 活動報告

##### (1)消費者庁の事故情報収集

- ・モバイルバッテリー：2018年7-9月40件/四半期とピークで、以降、落ち着いている。
- ・スマートフォン：2017年51件、2021年39件に対し、2022年10件まで減少。
- ・ノートパソコン：2019年50件をピークに、2022年は3件で大幅減少。
- ・電動アシスト自転車：2022年には過去最高48件、今後、注視する。
- ・充電式電気掃除機：2019年増加したものの、以降、横ばい。
- ・ポータブル電源：2019年以降から増加傾向にある。海外製の火災事故は調査中。他社製のソーラーパネルを不適切に接続して充電中に火災が発生した事故が1件あり。

##### (2)その他

- ・「民生用小型二次電池および産業用リチウム二次電池の安全確保のための表示ガイドライン」第7版を刊行するための修正案を検討。今年度中に内容を確定、来年度のはじめに刊行する予定。

#### ◆再資源化委員会

##### 活動報告

- ・IEC62902 ed2(識別表示) CDのINTRODUCTIONに、BAJのガイドラインが紹介されているが、誤解を招く表現があり、ポータブル機器用の充電式電池が対象であること、Li金属の記載がないことをコメントし、二次電池部

会事務局に提出した。

- ・JBRC では回収出来ない電池の処置検討を実施中。一般者からの充電式電池回収ルートが少ないながら存在していることがわかってきた。今後、さらに調査を進め、法的な根拠も踏まえてまとめていく。

#### ◆広報総合委員会

##### 活動報告・計画

###### (1)PR 活動

- ・小型二次電池の回収・リサイクル、廃棄時の注意喚起をテーマに、名古屋地下鉄 4 路線に 23 年 5 月から 1 年間ポスターを車両内に掲示。24 年 1 月に主婦向け月刊誌“3 分クッキング”に注意喚起、啓発を行う。
- ・一次電池の乳幼児誤飲事故防止として、昨年から継続している育児漫画のインスタグラムを利用した注意喚起を検討中。
- ・自動車用バッテリーの定期点検・買い替え促進として、JACLA(自動車教習所無料配布情報誌)、スポーツニッポンに訴求広告を掲載。

###### (2) キャンペーン

- ・「電池は正しく使いましょう!」キャンペーンを 3 週連続毎日新聞紙面に掲載。記事を見て頂くために、3 週連続でクイズを用意、3971 件の応募あり。
- ・電池に関する川柳コンテストを 9 月から募集開始。

###### (3) イベント

- ・でんちフェスタを 23 年 12 月 2 日神戸開催で実施内容の検討を進めている。
- ・手づくり乾電池教室は今年度 21 件を計画、5 件実施。電池を作るだけでなく、電池の構造、仕組みの実験、BAJ の活動の理解促進、電池の使い方の注意喚起も行っている。

###### (4) 情報発信

- ・機関紙「でんち」を毎月発行。

#### ◆国際環境規制総合委員会

##### 1. 活動実績

###### 1.2 地域別環境情報

###### (1) 欧州

- ・EU 電池規則が公布、2024 年 2 月 18 日から適

用開始。

###### (2) 北米

- ・ミネソタ州議会、メイン州の法律に類似した PFAS 含有製品規制法案を可決。
- ・メイン州 PFAS 汚染防止法の改正法が成立、新たな通知期日は 2025 年 1 月 1 日。改正受け当局が FAQ 掲載ウェブページを更新、今後のさらなる法改正の可能性も示唆。

###### 2.1 国際会議

- ・ICBR(国際電池リサイクル会議)に参加申し込み済み。

###### 2.2 冊子更新

- ・「世界の電池 環境規制の状況 第 13 版(書籍版)」の来年度発行に向けた準備。

###### 2.3 委員会運営

- ・11 月にリサイクル施設を見学することを計画。

#### 4. JBRC 報告

##### I. 会員状況

8 月 1 日現在 : 384 法人 (前回から 1 法人減)

##### II. 回収状況 (2023 年度 1Q 実績)

- ① 回収量 : 458.7 t、リチウムイオン電池が前年同期比減、全体では前年同期比 102%で下げ止まり感あり。
- ② 正極系リチウムイオン電池回収量は Co 系が増加。

##### III. 具体的施策実施内容

###### 1. 安全とコンプライアンスの徹底

- ・絶縁の不備、破損電池の混入に対して、都度、改善指導を実施。
- ・非純正バッテリーについて、会員である(株)マキタと情報交換実施、今後、BAJとも連携して、経産省に対策を働きかけていきたい。

- ・コンプライアンス遵守強化として、委託業務監査(リサイクラー5社、運搬業者1社)を計画

###### 2. 再資源化活動の深耕と強化

- ・7月末に、エコシステム秋田(株)の運用を開始。8月 24日、25日、理事会を兼ねて、エコシステム秋田と小坂の工場を視察した。
- ・SNS(LINE、You Tube)を活用した広告展開実

施。LINE登録数は約1650名、You Tubeには新しく作った動画を掲載。

- ・展示会は8ヶ所計画中、3ヶ所開催済み。
- ・出前授業は17ヶ所計画中、5ヶ所開催済み。東京中心の開催であったが、福岡大牟田で開催を予定。
- ・産廃排出協力事業者は増加傾向、産廃排出協力店は減少しているが、主要な店舗は減少していないので回収量への影響は大きくないと見ている。

### 3. 持続可能な経営体制作り

- ・定時社員総会の承認を得て、2024年度に計画している有償回収事業開始に向けて準備中。
- ・2026年度に導入を計画している新規回収会員管理システムの要件定義を実施中。

### 4. その他

- ・第1回リチウムイオン電池トラブル防止に関する生活者向け情報共有会に出席。

## IV. 2023年7月回収実績

- ・回収量は117.8t、前年同月比88%、大口の月ずれ影響あり。7月までの累計では前年比99%、継続的に状況を注視していく。

## 5. 事務局報告

### 1) 連絡事項

- ・経産省から依頼されたリサイクル材活用推進について、個社から頂いた意見を取り纏めて、6月22日、経産省に説明を行った。電池メーカー・リサイクラー・材料メーカーそれぞれの視点からの課題と全体的な課題に言及して、総論は賛成するものの、工程端材の使用促進、リサイクル材の供給義務・目標、電池メーカーの取組、法規制の見直しについての回答は一旦保留した。保留した経産省からの質問に対して、回答を取り纏めたので、9月15日までに内容を確認して頂き、ご意見を頂けるようご協力をお願いします。二次電池第2部会委員からの意見をBAJ側で取り纏めて、経産省に報告する。今後のスケジュールは、9月19日週にBASC、9月25日週に経産省を訪問する予定。

### 2) 次回開催日程

第109回：2023年12月1日（金）13:30  
～16:30 機械振興会館 + Teams

以上

# 国際会議だより

2023年9月にスペイン（バレンシア）にて、WRBRF（World Rechargeable Batteries Regulatory Forum）、およびICBR（International Congress for Battery Recycling）の両会議が開催された。

**開催会議：**ICBR（International Congress for Battery Recycling）

**開催期間：**2023年9月5日（火）～6日（水）

**開催地：**バレンシア（スペイン）

**出席者：**欧州を中心に世界各国のリサイクラー、業界団体、企業、研究機関等から約580名（オンライン含む）参加  
BAJ 澤井部長

**目的：**欧州を中心とした海外の電池リサイクルの実態と課題の把握

世界の電池リサイクル市場に関し①法規制 ②回収状況 ③リサイクル技術 ④安全性 ⑤リユース・セカンドユースの5つのテーマが取り上げられ、特にリサイクル技術に関する講演が多く見られた。



**開催会議：**WRBRF（World Rechargeable Batteries Regulatory Forum）

**開催期間：**2023年9月4日（月）～5日（火）

**開催地：**バレンシア（スペイン）

**出席者：**PRBA（米国）、RECHARGE（欧州）、KBIA（韓国）、BAJ/BASC（日本）の関係者 約30名参加

BAJ 国際電池規格委員会 川上委員長  
猪瀬部長、栗野部長

**目的：**PRBA、RECHARGE、KBIA 各地域の電池団体から情報収集

各二次電池団体が直面している環境、輸送、性能、安全に関する規格・規制について活発に討議された。

また、会議名称を WRBRF(World Rechargeable Battery Regulatory Forum)から WBF(World Battery Forum)に変更することとなった。

# 2023年8月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	22日(火)	国際環境規制総合委員会	地位別アップデート、視察先の検討
	23日(水)	蓄電池設備認定委員会	蓄電池設備 資格登録の審査、型式認定の審査
	24日(木)	蓄電池設備整備資格者講習実施委員会	宮城県、東京都①、②会場の修了考査審議
	25日(金)	広報総合委員会	でんちフェスタ開催内容検討 等
二次電池部会	4日(金)	自動車鉛分科会	SBA G 0101「始動用(自動車用)鉛蓄電池の安全・取扱い指針」、改正審議 等
	22日(火)	据置鉛分科会	JIS F 8101 船用鉛蓄電池改正審議 等
	24日(木)	小形鉛分科会	SBA G 0206「小形制御弁式鉛蓄電池を使用するキュービクル —熱設計に関する技術指針」改正審議 等
	24日(木)	PL委員会	委員長交代 審議
	24日(木)	産電リサイクル委員会、広域認定分科会	広域234号変更申請および新規広域認定取得打ち合わせ
	25日(金)	電気車鉛分科会	SBA S 0802「小型電動車用鉛蓄電池」改正審議 等
	25日(金)	充電器分科会	JIS C 4402の改正審議、認定の手引きの改正検討 等
	30日(水)	用語分科会	SBA S 0405「二次電池用語」改正審議 等
二次電池第2部会	2日(水)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討
	3日(木)	産業用ニッケル水素分科会	IEC規格検討
	4日(金)	PL委員会	安全啓蒙施策、事故情報集計
	7日(月)	法規WG	蓄電池の規制適正化検討
	9日(水)	リチウム二次分科会	JISC62133-2からIEC62133-2への提案内容審議
	21日(月)	技術委員会	技術全般に係る審議事項への対応
	22日(火)	リユース規格分科会-リユース・リサイクルTF合同会議	リユース規格に関する審議
	23日(水)	普及促進委員会	蓄電池システムの普及促進に関する提言検討
	23日(水)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池システムの普及強化に向けた戦略実現検討
	23日(水)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討
	24日(木)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応
	25日(金)	国際電池規格委員会	IEC規格 ANSI規格等の審議対応
	28日(月)	二次電池第2部会	各委員会からの報告および審議
	30日(水)	据置LIB分科会	産業用LIBのJIS/IEC規格対応
31日(木)	蓄電システムWG	建築設備計画基準/設計基準改訂検討	
31日(木)	ニカド・ニッケル水素分科会	ニカド・ニッケル水素電池 性能規格の改訂審議	
一次電池部会	25日(金)	消費者委員会	災害発生時の支援物資 供給対応
	28日(月)	コイン形リチウム二次分科会	IEC61960-4 ED2 CDV審議、GB31241について意見交換
	29日(火)	PL委員会	2022年度重要クレーム情報に関する審議
	29日(火)	規格委員会	勉強会、IEC60086-1、86-2、86-4、86-5審議
	30日(水)	規格委員会	IEC62281、60086-4、MT17審議
	30日(水)	器具委員会	BAJ規格「SBA S 1601 携帯電灯」の改正審議
	31日(木)	技術委員会	国際幹事、JIS改正、IEC審議状況、コイン形リチウム二次関連報告

## 6 月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります。

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

「その他の乾電池」を削除する。（2013年経済産業省機械統計より）

2017年9月より経済産業省機械統計のアルカリ乾電池「単三」「単四」は公開されていません。

2022年1月より経済産業省の機械統計は「その他のアルカリマンガン乾電池」は「アルカリ乾電池計」に統合されました。

2022年7月より経済産業省の機械統計は「アルカリ蓄電池（ニッケル・水素電池）」「その他のアルカリ蓄電池」は「アルカリ蓄電池計」に統合されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
<b>全電池合計</b>	353,966	129,373	88%	133%	1,984,738	741,340	90%	133%
<b>一次電池計</b>	226,906	9,436	88%	102%	1,173,438	49,364	85%	100%
酸化銀電池	55,064	1,398	87%	96%	325,375	8,143	89%	102%
アルカリ乾電池計	95,131	3,951	82%	91%	502,753	20,518	87%	95%
単 三	-	-	-	-	-	-	-	-
単 四	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウム電池	76,711	4,087	97%	118%	345,310	20,703	78%	104%
<b>二次電池計</b>	127,060	119,937	88%	136%	811,300	691,976	100%	137%
鉛電池計	2,255	16,241	101%	110%	14,095	101,698	101%	110%
自動車用	1,690	10,525	101%	108%	10,777	66,439	101%	109%
その他の鉛蓄電池	565	5,716	102%	114%	3,318	35,259	100%	112%
アルカリ蓄電池計	38,179	26,494	112%	141%	199,178	146,670	88%	125%
ニッケル水素	-	-	-	-	-	-	-	-
その他のアルカリ蓄電池	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウムイオン蓄電池計	86,626	77,202	80%	141%	598,027	443,608	104%	150%
車載用	71,091	68,708	92%	168%	498,688	392,706	121%	173%
その他	15,535	8,494	50%	62%	99,339	50,902	60%	73%

## 6月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります。

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
<b>全電池合計（輸出）</b>	184,361	54,087	78%	82%	1,103,193	338,270	84%	96%
<b>一次電池計</b>	95,616	3,158	80%	95%	530,382	17,271	78%	89%
マンガン	0	0	-	-	35	7	-	-
アルカリ	8,554	189	52%	57%	66,349	1,321	79%	91%
酸化銀	38,654	931	77%	107%	259,606	5,995	89%	105%
リチウム	48,407	2,038	92%	101%	204,392	9,826	66%	90%
空気亜鉛	0	0	-	-	0	0	-	-
その他の一次	0	0	475%	0%	0	123	12%	9%
<b>二次電池計</b>	88,745	50,928	75%	81%	572,811	320,999	91%	96%
鉛蓄電池	92	915	53%	70%	628	5,373	68%	78%
ニカド	168	49	52%	58%	1,388	438	88%	104%
ニッケル鉄	0	0	-	-	0	0	-	-
ニッケル水素	9,500	11,422	78%	117%	46,635	64,039	62%	101%
リチウムイオン	69,604	32,745	77%	88%	492,788	209,669	101%	108%
その他の二次	9,381	5,797	62%	40%	31,372	41,480	50%	60%
<b>全電池合計（輸入）</b>	103,665	48,931	78%	133%	721,979	246,899	87%	136%
<b>一次電池計</b>	96,012	1,949	77%	82%	675,753	13,382	86%	102%
マンガン	11,897	175	129%	108%	56,249	939	93%	114%
アルカリボタン	1,522	16	62%	69%	16,404	146	99%	94%
アルカリその他	67,743	1,075	68%	74%	513,337	7,790	85%	97%
酸化銀	122	7	40%	65%	958	41	79%	90%
リチウム	9,684	563	101%	122%	60,187	3,559	85%	110%
空気亜鉛	5,039	108	130%	132%	28,606	677	103%	107%
その他の一次	6	5	152%	3%	12	231	62%	95%
<b>二次電池計</b>	7,653	46,982	89%	137%	46,226	233,516	93%	139%
鉛蓄電池	766	4,750	97%	115%	4,713	27,569	98%	110%
ニカド	59	247	53%	170%	350	1,156	86%	131%
ニッケル鉄	0	0	-	-	0	0	-	-
ニッケル水素	1,861	462	98%	87%	10,795	2,613	87%	93%
リチウムイオン	4,948	35,039	85%	135%	30,198	171,982	95%	137%
その他の二次	19	6,484	92%	180%	169	30,197	62%	214%